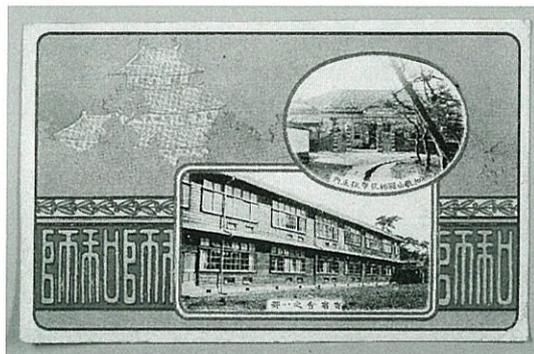


師範学校から教育学部へ

1875年5月4日、和歌山県師範学校が誕生しました。これは1872年に学制施行に先立ち開学された和歌山県学を改称したものです。ここでは15歳から20歳までの生徒が、将来の教員を目指して学びました。

その後、1891年に女子部が設立され、1929年には独立して和歌山県女子師範学校となりました。さらに戦時体制下の1943年には両校が統合され官立（国立）の和歌山師範学校が誕生し、翌年には和歌山青年師範学校（旧和歌山県立青年学校教員養成所）も設けられました。戦後の教育制度改革により、1949年に国立和歌山大学が創設され、師範学校と青年師範学校は学芸学部の母体となり、多くの教員を育ててきました。

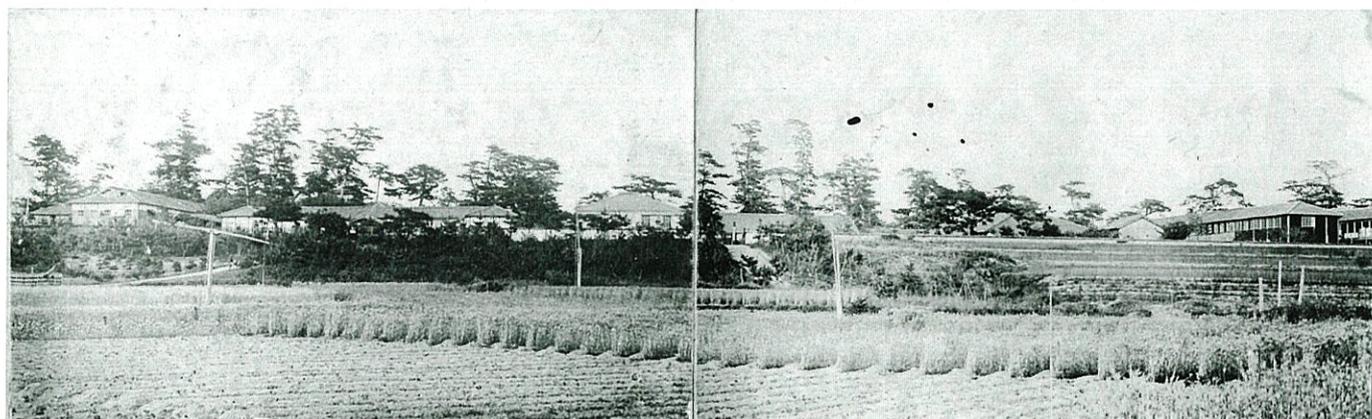
本年は和歌山県師範学校が誕生してから150年の節目にあたります。この節目にあたり、これまでの歩みを振り返る特別展を開催いたします。本学には、日本近代史、教育史に関する資料が多数保存・保管されています。歴史的価値の高い貴重な資料であり、この節目を契機として、日頃目に触れることの少ない文書・記録・写真・教材などを中心に展示いたします。くすんだセピア色とほこり、そしてそこに込められた思い出とともに、同窓生をはじめ、多くの方々に懐かしさや時代を感じていただければ幸いです。



和歌山県師範学校開校四拾周年記念絵葉書（1915年）



『河童』創刊号（1965年）
和歌山大学水泳部
和歌山大学大学史資料室蔵



和歌山師範学校校舎全景写真（1879年頃）

● 関連イベント

● 特別展シンポジウム

「教育学部一五〇周年特別展 師範学校から教育学部へ」

2025年11月23日（日） 14時00分～

会場：和歌山大学東1号館 E1-102

○ 基調講演

「アカデミズムとプロフェッショナリズムの相剋：教員史から見る教員養成理念の形成過程」

講師 山田浩之氏（広島大学大学院人間社会科学研究科教授）

○ パネルディスカッション

長廣利崇（紀州経済史文化史研究所・所長）

山崎由可里（教育学部・学部長）

馬場一博（元和歌山県教育委員会・『和歌山県教育史』編集者）

司会 小関彩子（紀州経済史文化史研究所・副所長）